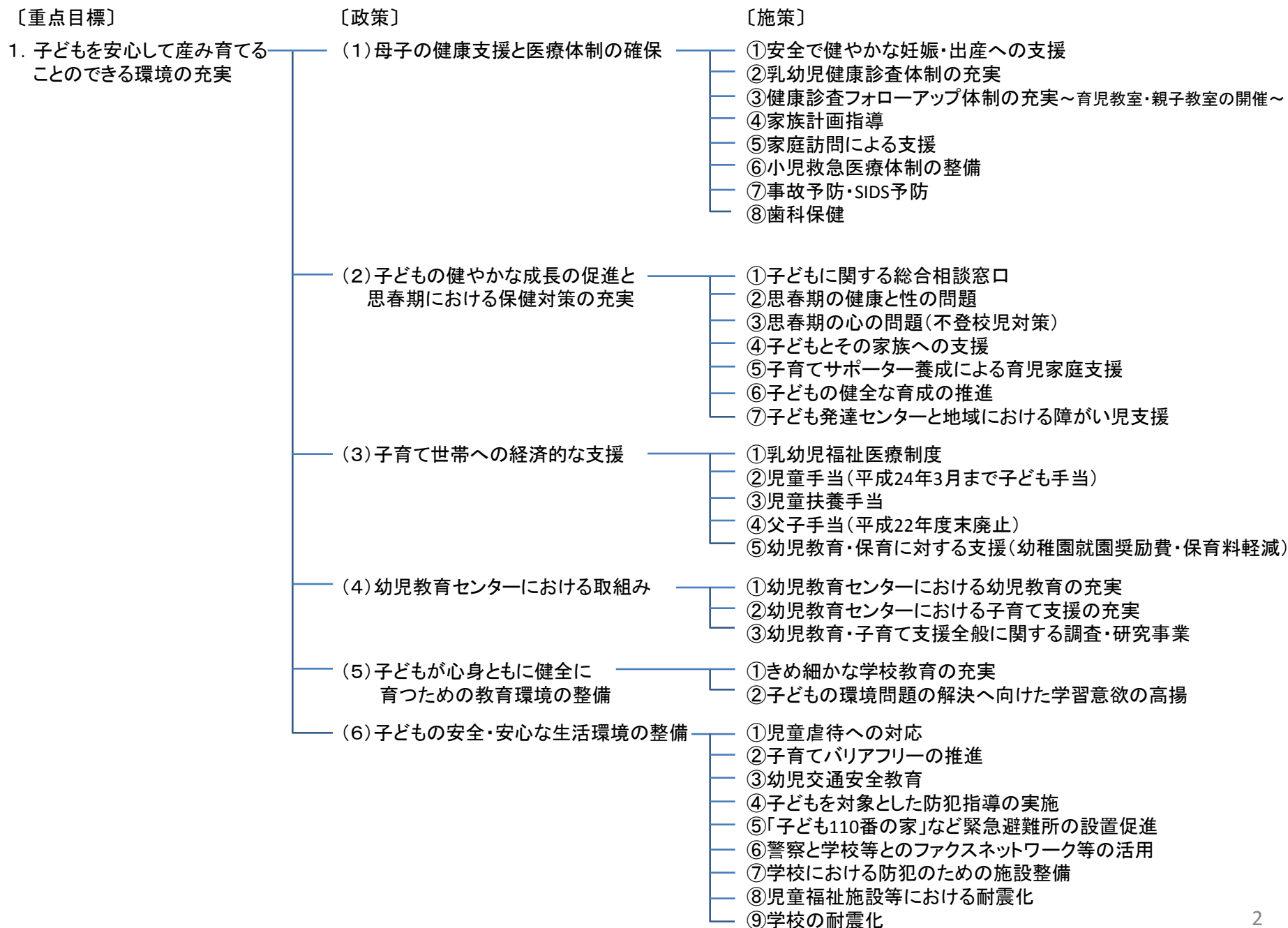
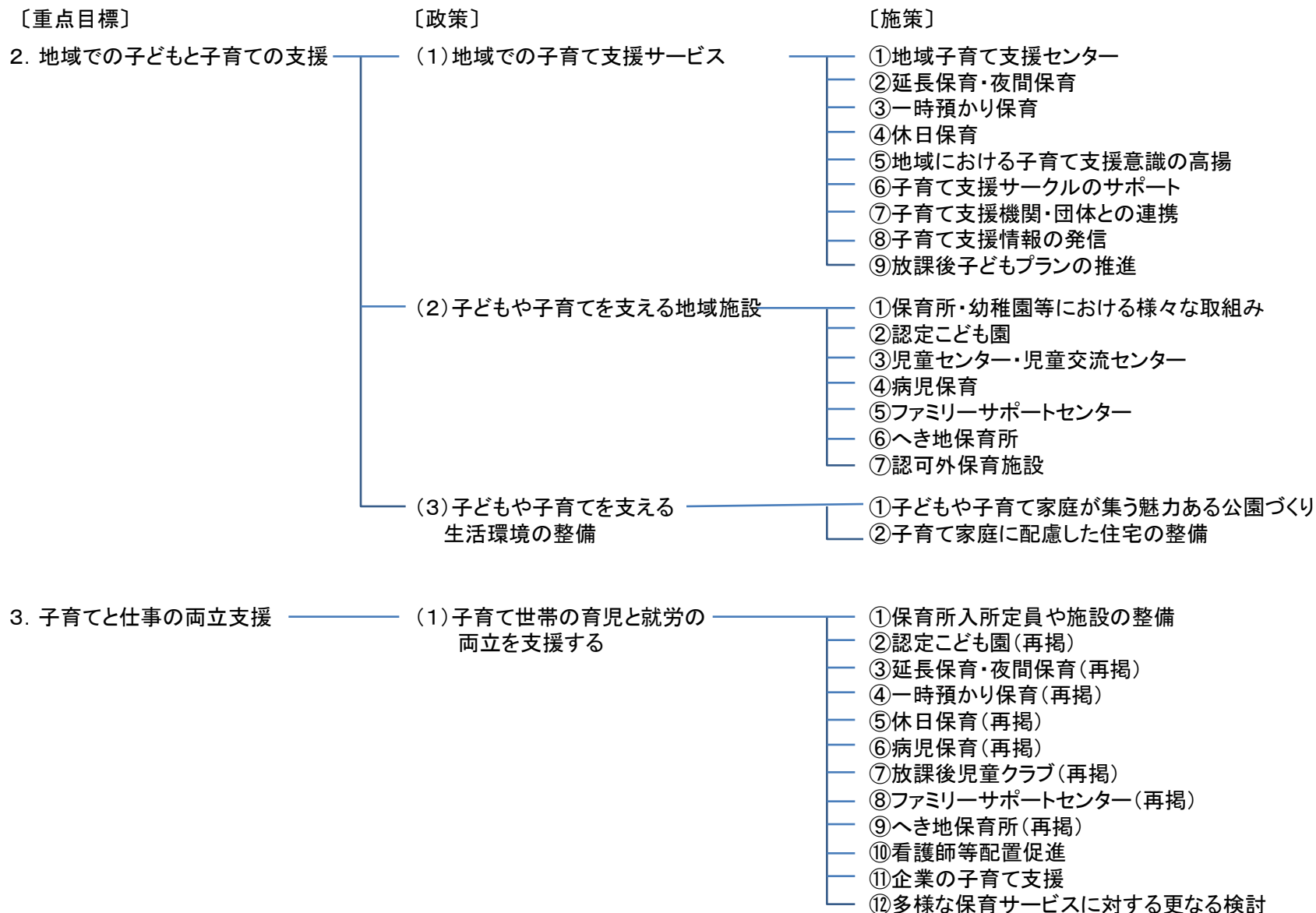


第4回佐世保市子ども子育て会議

委員アンケート結果からみた現行施策の評価・課題

平成26年1月24日(金)





重点目標

1. 子どもを安心して産み育てることのできる環境の充実

政策

(1)子どもを安心して産み育てることのできる環境の充実

評価
方向性
重要度

- ◆ ①妊娠・出産への支援、②幼児健康診査体制、③健康診査、⑤家庭訪問は「十分」が5割を超えているが、①、②、③は更なる改善(拡大)を求める意見も多い。特に①妊娠・出産への支援は重要度が最も高く、重点的な取り組みが求められている施策といえる。
- ◆ ④家族計画指導は「十分ではない」が4割を占め、改善(拡大)も5割と多くなっている。

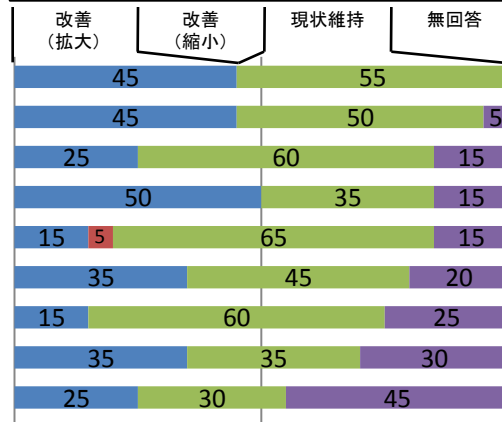
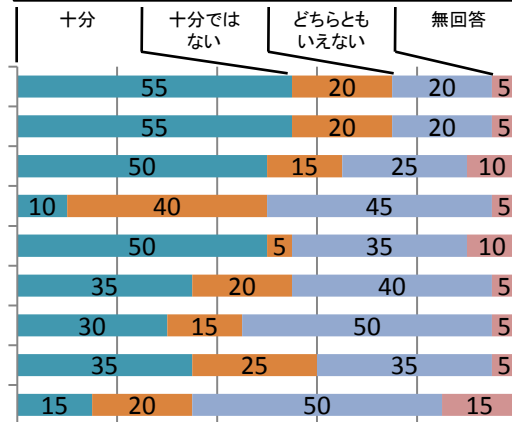
施策

取り組みの評価(%)

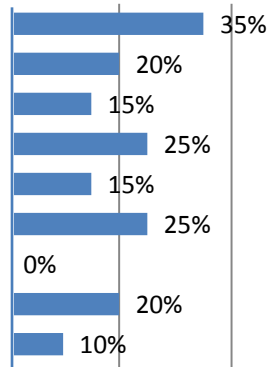
今後の方向性(%)

重要度※

- ①安全で健やかな妊娠・出産への支援
- ②乳幼児健康診査体制の充実
- ③健康診査フォローアップ体制の充実
- ④家族計画指導
- ⑤家庭訪問による支援
- ⑥小児救急医療体制の整備
- ⑦事故予防・SIDS予防
- ⑧歯科保健
- ⑨その他(母子保健医療サービス)



(2つまで選択)



コメント・自由意見

①安全で健やかな妊娠・出産への支援

父親の子育てへの参加促進／妊婦健康診査の拡大・充実／情報発信の強化／参加しやすい講座等の開催(土日開催、父親が参加しやすい環境づくり)／不妊治療対策の検討

②乳幼児健康診査体制の充実

3歳児健診の更なる受診率向上(家庭訪問実施、実施回数増加、対象の拡大、丁寧な取り組み)

③健康診査フォローアップ体制の充実

すくすく広場や親子教室の実施回数増加／経過健診の実施／発達障害の早期発見(相談しやすい環境等)

④家族計画指導

全体的な施策の拡大／避妊・母体保護に関する啓発／男性への指導充実

⑤家庭訪問による支援

取り組みの維持／家庭の事情に応じた取り組み

⑥小児救急医療体制の整備

現状の取り組みの点検(問題点がわからない)／休日・夜間の体制検討／合併町(特に遠方)対策

⑦事故予防・SIDS予防

情報発信の強化

⑧歯科保健

目標値見直し／フッ素塗布の実施方法検討(選択制、無料化等)／フッ化物洗口の支援／歯科医師不在の地域での取り組み強化(特に離島など)／現行取り組みの維持

⑨その他(母子保健医療サービス)

心のケア

〔自由意見〕

医療機関の充実／専門家との連携／母子の歯科チェック／時代に応じた支援／保護者負担の軽減

重点目標

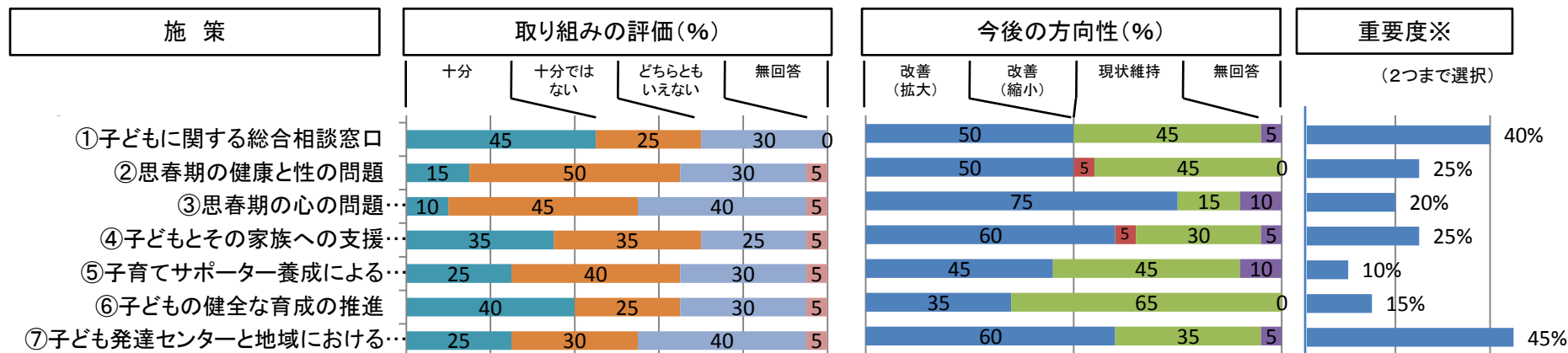
1. 子どもを安心して産み育てることのできる環境の充実

政策

(2)子どもの健やかな成長の促進思春期における保健対策の充実

評価
方向性
重要度

- ◆ 現行の取り組みについては他施策と比較すると全体的に「十分ではない」という意見が多く、特に②、③など思春期における性や心の問題に対する対応などの評価が低く、改善(拡大)が求められている。
- ◆ 施策の重要度については⑦障がい児支援と①相談窓口が特に高い。①相談窓口は評価する意見も多いが更なる改善(拡大)が期待されている。



コメント・自由意見

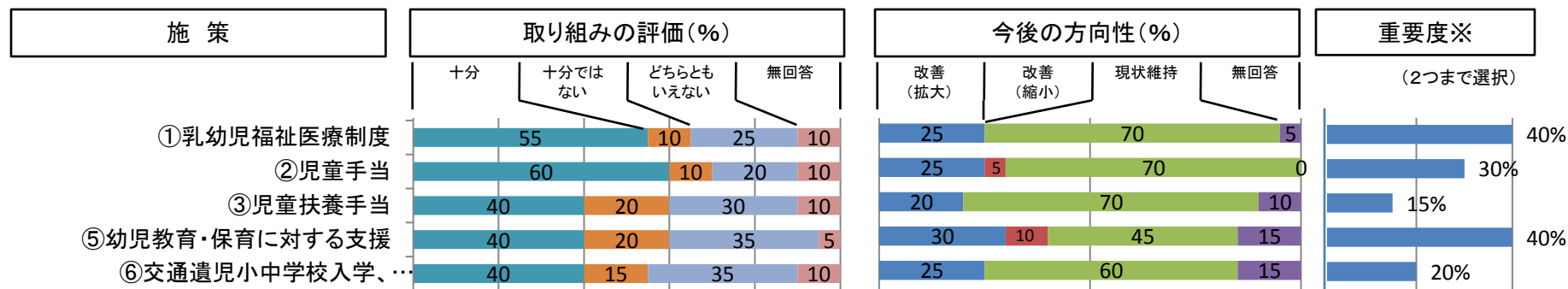
①子どもに関する総合相談窓口	全体的に機能しており継続が必要／身近な場所での設置／情報発信の強化／相談件数に応じた人体体制／相談件数を減らす取り組み
②思春期の健康と性の問題	教育機関との連携強化／教育の質の向上／家庭での取り組みの充実／お話し会の実施率拡大
③思春期の心の問題(不登校児対策)	教育機関との連携強化／スクールソーシャルワーカーの増員等／相談窓口の設置／居場所づくり
④子どもとその家族への支援(カウンセリング)	専門家が少ない／相談対応の充実／親へのカウンセリングやコーチングの実施／講座等の情報発信強化
⑤子育てサポーター養成による育児家庭支援	草の根的な人材発掘／必要に応じた支援の日常的な実施／訪問体制の確立／情報発信の強化
⑥子どもの健全な育成の推進	研修会や講座以外の取り組みの必要性／類似事業の連携／既存事業の継続実施
⑦子ども発達センターと地域における障がい児支援	受診待ちが多く拡大が必要／身近な地域での支援／平等な支援／保育園等の受入れ体制の充実
〔自由意見〕	子どもの話を聞いてあげる大人の必要性／18歳までの児童の育成方策の検討／民生委員との連携 子どもが助けを求めることができる体制づくり／性教育の充実／相談に対する対応の充実／トワイライトステイの目標値の検討／障がい児の長期的な支援

重点目標 1. 子どもを安心して産み育てることのできる環境の充実

政策 (3)子育て世帯への経済的な支援

評価
方向性
重要度

- ◆ 現行の取り組みについて他施策と比較すると「十分」という意見が多い。
- ◆ 今後の方向性については現状維持の意見が多いが、①乳幼児福祉医療制度や⑤幼児教育・保育に対する支援は重要度が高い。



(注意)③児童扶養手当の拡充に伴い、④父子手当は平成22年度末で廃止

コメント・自由意見

①乳幼児福祉医療制度	現行取り組みの継続
②児童手当	支給回数の検討(毎月など)／給食費との関係(差引など)／養育者への振込など手続き関係の見直し／現行取り組みの継続
③児童扶養手当	所得制限がタイト／祖父母など同居者による制限の妥当性／制度の拡充検討／現行取り組みの継続
⑤幼児教育・保育に対する支援	私立幼稚園の就園奨励費補助や2歳児就園奨励補助の必要性検討／園による支援の差の是正／認可外保育施設の環境整備／幼児教室・保育支援の拡充
⑥交通遺児・小中学校入学、中等学校卒業祝金	実態について不明な部分が多い
〔自由意見〕	母子・父子家庭への支援／学校と連携した貧困への丁寧な対応／交通遺児の就職対策／経済的負担の軽減 少子化対策としての児童手当の妥当性や現金以外の支給などの検討

重点目標

1. 子どもを安心して産み育てることのできる環境の充実

政策

(4) 幼児教育センターにおける取り組み

評価
方向性
重要度

- ◆ ①、②幼児教育センター関連施策については「十分」が5割前後で多いものの、今後の重要施策であるとの意見が多い。また、自由意見では情報発信面の課題なども指摘されており改善が求められている。
- ◆ ③調査研究事業や④研修費補助などは達成目標の設定が難しく評価が困難であるとの意見がみられた。

施策

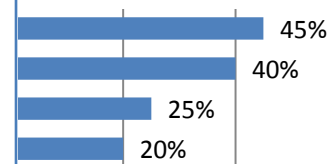
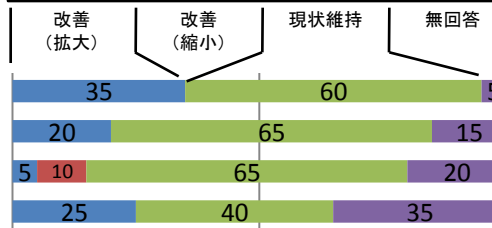
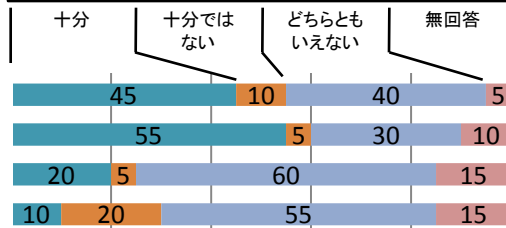
取り組みの評価(%)

今後の方向性(%)

重要度※

(2つまで選択)

- ① 幼児教育センターにおける幼児教育…
- ② 幼児教育センターにおける子育て支援…
- ③ 幼児教育・子育て支援全般に関する…
- ④ 私立幼稚園・私立保育所への…



コメント・自由意見

① 幼児教育センターにおける 幼児教育の充実	創意工夫や仕掛けが必要／保幼小連携の強化／人員体制の充実／地域別協議会や講座の継続
② 幼児教育センターにおける 子育て支援の充実	現行の取り組みの継続
③ 幼児教育・子育て支援全般に関する 調査・研究事業	達成目標の設定が難しい／研修会の開催回数の見直し(多過ぎ)／講演回数の増加／子育て支援ネットワークの活用
④ 私立幼稚園・私立保育所への 研修費補助	具体的数値が不明／園児数が少ない園の研修費の不足／公立の補助不足
〔自由意見〕	新制度への対応／幼児教育センターの情報発信不足(内容がわかりにくい)／講座回数の増加

重点目標

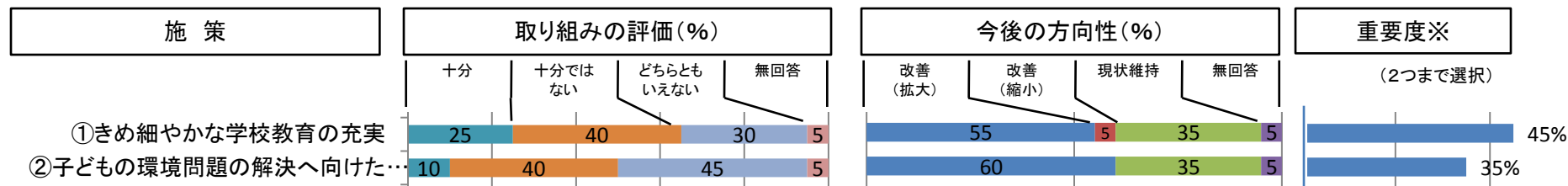
1. 子どもを安心して産み育てることのできる環境の充実

政策

(5)子どもが心身ともに健全に育つための教育環境の整備

評価
方向性
重要度

◆ 両施策とも「十分ではない」が4割と多く、改善(拡大)が求められている。



コメント・自由意見

①きめ細かな学校教育の充実

現行取り組みの継続／個別指導の充実／学校と家庭のコミュニケーション強化／学校による格差の是正／教員の負担軽減(学校評価を重視しすぎでは)

②子どもの環境問題の解決へ向けた
学習意欲の高揚

環境ISOの導入促進／体験学習の増加／環境教育の充実

〔自由意見〕

小中学校へのエアコン設置／見学や体験の場の拡大による問題解決力の向上／サポートティチャーの増加

重点目標

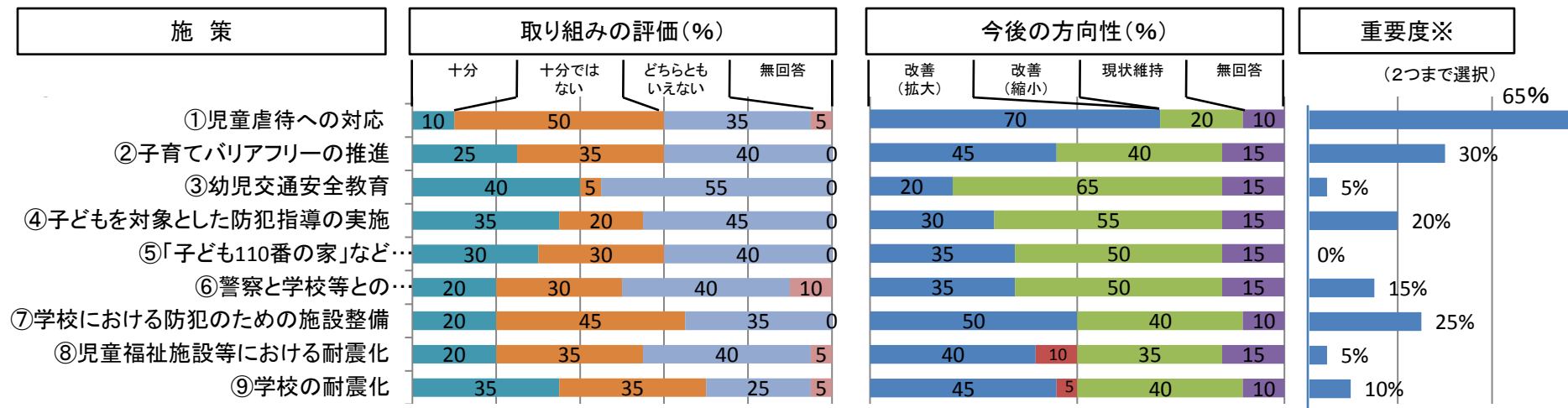
1. 子どもを安心して産み育てることのできる環境の充実

政策

(6)子どもの安全・安心な生活環境の整備

評価
方向性
重要度

- ◆ ①虐待への対応は「十分ではない」が5割で最も多い。重要度も最も高く改善(拡大)も7割と今後の重要施策の一つであるといえる。
- ◆ ⑦学校における防犯のための施設整備も評価が低く、改善(拡大)の意見も5割と高くなっている。



コメント・自由意見

①児童虐待への対応	要保護児童対策地域協議会等の活用／早期発見の努力（水面下は更に多い）／学校との連携した早期発見／問題終結率を上げるための取り組み強化／大人への教育／継続的な取り組み
②子育てバリアフリーの推進	父親が子育てに参加しやすい環境づくり／道路の改善／高齢者にとっても重要
③幼児交通安全教育	目標値の達成／全体的な意識の高揚／低年齢児からの教育／継続的な教育／現行の取り組みの継続
⑤「子ども110番の家」など 緊急避難所の設置促進	具体的な効果の検証／子どもの認知度の確認／協力世帯の増加
⑥警察と学校等とのファクスネットワーク 等の活用	情報発信の強化／ファックスシステムの適正な運用(届かないことがあった)
⑦学校における防犯のための施設整備	防犯カメラの設置・増加／入校者のチェック体制の確立／確実な事業推進
⑧児童福祉施設等における耐震化	計画の100%実現／事業の拡大
⑨学校の耐震化	計画の100%実現／事業の拡大／計画の適正な実施
〔自由意見〕	各組織の縦割りの是正／荒天時の小学生の通学安全性の確保／警察と学校の連携強化

2 委員アンケート結果(7)

重点目標

2. 地域での子どもと子育ての支援

政策

(1)地域での子育て支援サービス

評価 方向性 重要度

◆ 全体的に現行の取り組みについて評価が分かれる結果となったが、特に⑨放課後子どもプランの推進は重要度、改善(拡大)ニーズとも高くなっている。

施策

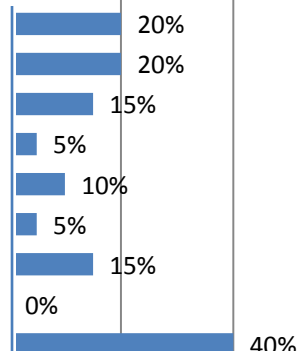
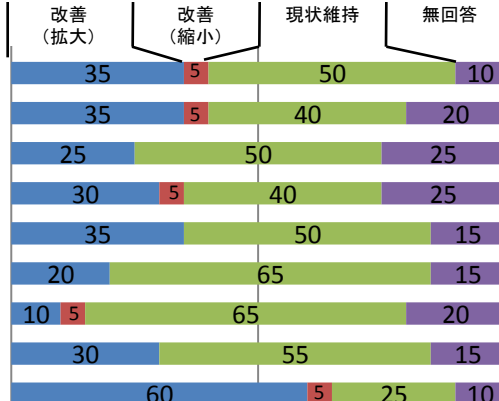
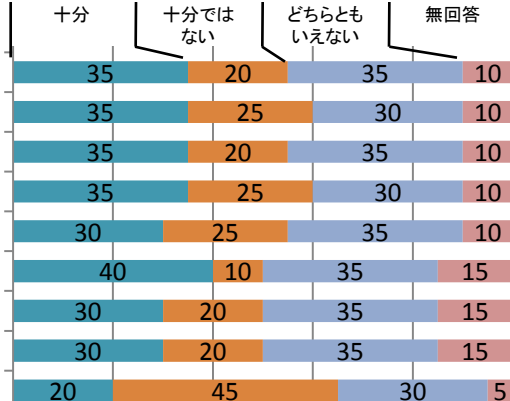
取り組みの評価(%)

今後の方向性(%)

重要度※

(2つまで選択)

- ①地域子育て支援センター
- ②延長保育・夜間保育
- ③一時預かり保育
- ④休日保育
- ⑤地域における子育て支援意識の高揚
- ⑥子育て支援サークルのサポート
- ⑦子育て支援機関・団体との連携
- ⑧子育て支援情報の発信
- ⑨放課後子どもプランの推進



コメント・自由意見

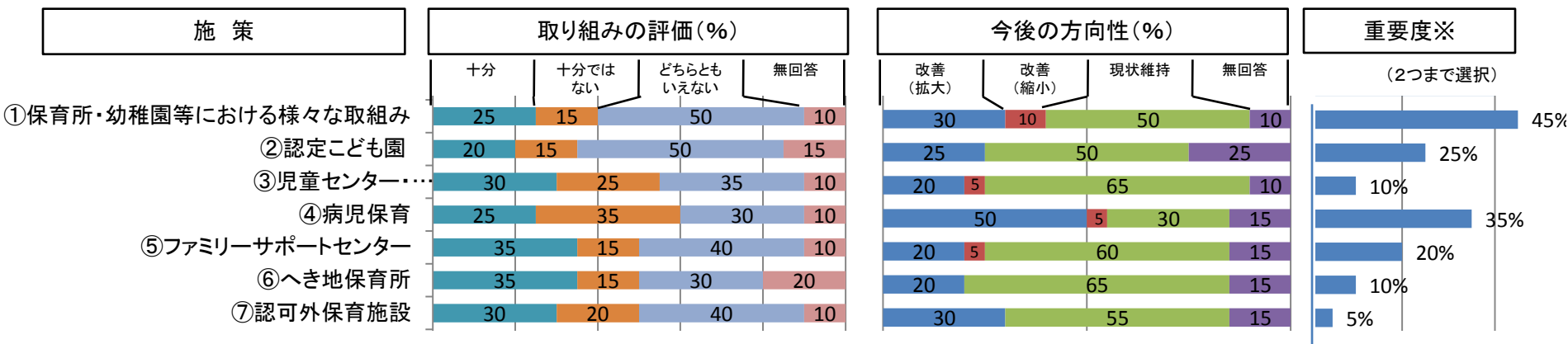
①地域子育て支援センター	身近に利用できる地域での設置(中心部など)／現行取り組みの継続
②延長保育・夜間保育	企業側の取り組み強化／保育時間の延長／ニーズ把握と適切な対応／現行取り組みの継続／子どもの福祉的には疑問・長時間保育は好ましくない
③一時預かり保育	必要な施策／現状では少ないのでは／ニーズとの関係が不明であるため回答不可
④休日保育	必要な施策／ニーズとの関係が不明であるため回答不可／ニーズ調査の必要性／北部地域での実施
⑤地域における子育て支援意識の高揚	親育て(親業訓練)の必要性／町内会等との支援と交流の必要性／町全体でのサポート／講演会などの参加者の拡大／現行取り組みの継続
⑥子育て支援サークルのサポート	参加者の減少に対する対策／現行取り組みの継続
⑦子育て支援機関・団体との連携	支援機関・団体との情報共有と活動が重要／現状と問題点が不明
⑧子育て支援情報の発信	身近な場所での情報発信の強化(スーパーなど)／HP等に頼りすぎない取り組みの実施
⑨放課後子どもプランの推進	緊急の課題／ニーズに対する質・量の検証／支援団体や協力者の確保／周辺地域への配慮／放課後児童クラブの整備／拡大が必要／6年生までの延長／休日の実施／環境整備／現行取り組みの継続
〔自由意見〕	企業側の認識と対応強化／全ての子どもに対する支援／町内会・敬老会との交流／転入者に対する情報発信／学童保育の環境整備／延長・夜間保育等の効果測定

重点目標 2. 地域での子どもと子育ての支援

政策 (2)子どもや子育てを支える地域施設

評価
方向性
重要度

- ◆ 現行の取り組みについて「どちらともいえない」が全体的に多いが、実態認識の難しさなどが背景にあると考えられる。
- ◆ 今後の方向性については現状維持が多いが、④病児保育は重要度、改善(拡大)ニーズとも高い。また、①保育所・幼稚園における様々な取り組みの重要度も高くなっている。



コメント・自由意見

①保育所・幼稚園等における様々な取組み	保育者の処遇改善・質向上・離職率低下の取り組み／地域連携事業の増加／公立保育所・幼稚園の人員体制の充実／第三者評価の実施／自由保育のあり方
②認定こども園	それぞれの施設の長所・短所を見極めた推進／情報発信の強化／現行の取り組みの継続
③児童センター・児童交流センター	指定管理者制度の見直し／利用者の拡大／利用者数減少を踏まえた改善
④病児保育	仕事を休むことが先決／更なる整備推進・拡大／他都市と比較し多すぎる／利用しやすいサービス提供
⑤ファミリーサポートセンター	実態が不明で評価が困難／保育所の一時預かりや放課後子どもプランの充実により必要性が低いのでは／現行の取り組みの継続
⑥へき地保育所	保育の質の均等化・担保する仕組み／小規模保育所への転換／離島での必要性高く運営方法等を検討
⑦認可外保育施設	安価な保育料で質が心配／施設環境や人員体制などの公開／環境整備(保育環境、人員体制、労働条件等)
〔自由意見〕	合併地域も含めた地域の実情に応じた取り組み／認可外保育施設の安全対策(ケガの保障など)／サポートを気軽に頼めるような仕組みづくり

重点目標

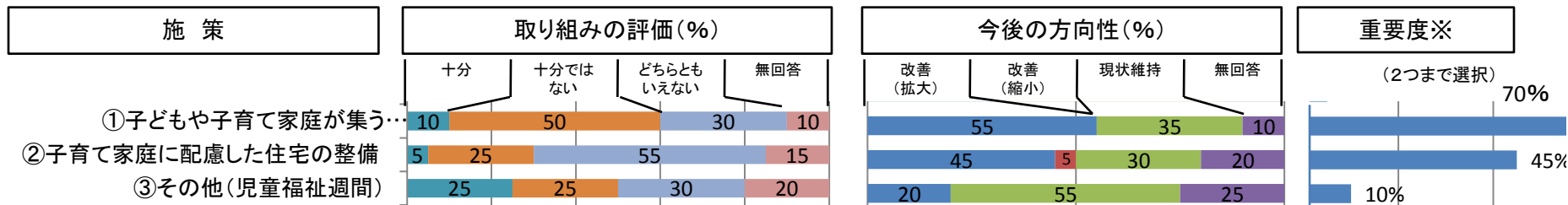
2. 地域での子どもと子育ての支援

政策

(3)子どもや子育てを支える生活環境の整備

評価
方向性
重要度

- ◆ ①公園づくりは「十分ではない」が5割を占めており、今後の重要度、改善(拡大)ニーズとも高くなっている。
 ◆ ②住宅の整備は現行取り組みの評価は意見が分かれるが、重要度、改善(拡大)ニーズとも高くなっている。



コメント・自由意見

①子どもや子育て家庭が集う
魅力ある公園づくり

木陰や遊具のある身近な公園の不足／親子で遊べる場所が少ない(駐車場整備、雨天対策など)／子どもの遊び場づくりの計画的な推進／公園利用者が少ない／安易な公園整備の抑制／自然豊かな公園が必要／地方への佐世保公園の小型版の整備／事業拡大／安全安心の施設整備・管理

②子育て家庭に配慮した住宅の整備

市営住宅における多子世帯を優先／子育て家庭専用住宅の整備／子供用の個室ではなくLDLと一緒にふれあう環境が必要

③その他(児童福祉週間)

参加者数が不明／情報発信の強化

重点目標

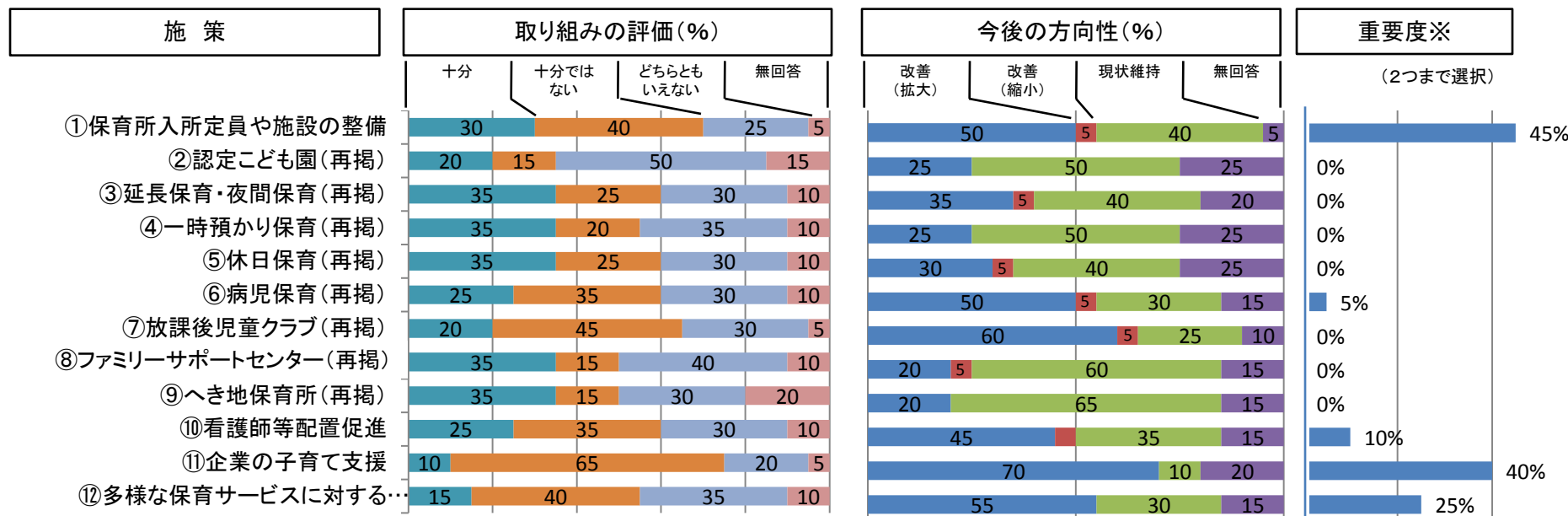
3. 子育てと仕事の両立支援

政策

(1) 子育て世帯の育児と就労の両立を支援する

評価
方向性
重要度

- ◆ 全体的に実態が不明な点が多く評価が難しいといった意見が多くみられた。
- ◆ 今後の方向性については現状維持が多いが、⑪企業の子育て支援は重要度も高く改善(拡大)の意見が多い。また、①保育所・幼稚園における様々な取り組みの重要度も高い。



コメント・自由意見

①保育所入所定員や施設の整備	地域内格差、認可外保育施設など要検討／待機児童が出ないような取り組み・解消の取り組み／希望地域の保育所に入所できるような取り組み／新興住宅地での取り組み
⑩看護師等配置促進	アレルギー対応など安全配慮の必要性／補助金単価の見直し(アップ)／看護師等の配置
⑪企業の子育て支援	啓発活動の強化／産休・育休・看護休暇を取りやすく・時間も短く／仕事と育児が両立できる就業環境づくり／企業における子育て支援制度の実態と利用状況の確認／中小企業の改善策・理解の向上／現行取組み継続
⑫多様な保育サービスに対する 更なる検討	保護者ニーズありきにならないよう要検討／保育ママ・育児サービスの発展
〔自由意見〕	産業界の協力が必要／職場環境の格差是正／育児休暇が取りやすい環境づくり／パートタイマー向けの時間差保育の導入／多様化するニーズに対する支援策の実施